

主 な 用 語 の 解 説

(五十音順)

アウトリーチ

まちづくりに対する地域住民の声を収集したり、関心を高めたりする活動

ウェルカム事業

閉じこもり予防を目的とし、地域の方との交流を深めるため、65歳以上を対象に無料で体操や講座等を行う和光市独自の介護予防事業の1つ

学校生活支援員

障害等により学校生活への適応が著しく困難な児童・生徒が、豊かな学校生活を過ごせるように支援を行う非常勤特別職

基金

特定の目的のために積み立てた資金や維持する財産、または定額の資金を運用するために設ける資金や財産

* 学校建設基金 = 学校施設を建設することを目的として積み立てる資金です。

逆ザヤ

売値が買値より低くなり利益が出ない状態

給水原価

水道水を1立方メートル作るのに必要とする経費

供給単価

使用者の皆様からいただく1立方メートルあたりの平均単価

協働事業

市民と市(行政)が共通の課題や目標に向けて、それぞれの特性を發揮しながら協力して取り組む事業のこと

繰上充用

会計年度の歳入が歳出に対して不足する場合に、翌年度の歳入を繰り上げて、その年度にあてること

繰入金

一般会計、特別会計および基金間で、相互に資金運用をするもの

* その会計から他の会計に資金を移す場合を「繰出」、他の会計からその会計に資金が移される場合を「繰入」といいます。

繰越金

前年度の決算上、余ったお金

ケースワーカー

精神的、肉体的、社会的になんらかの問題のある個人、家庭の相談相手となって問題の解決や指導にあたる人

* 社会福祉主事、児童福祉司など

県支出金

県から市の事業に対して支払われるお金

公債費

市債の元金・利子やその他の利子を支払うための経費

国庫支出金

国から市の事業に対して支払われるお金

財産収入

市の財産の貸付け、売払いなどで得た収入

* 公共用地の売却や基金積立金の利子などが該当します。

財政健全化比率

法に基づき決算をもとに実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の 4 つの指標を算出するもの

* 数値が大きいほど財政状況が悪化していることを示します。

事故繰越

歳出予算の経費の金額のうち、年度内に支出負担行為をし、避けがたい事故のためその年度内に支出を終わらなかつたものを翌年度に繰り越して使用すること

市 税

市民等が納める市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、法人市民税など

剰余金

会計年度で歳入額から歳出額を引いた残額、翌年度の歳入に繰入れること

使用料及び手数料

公の施設の使用料や証明書の発行に伴う手数料として徴収するもの

諸収入

収入の性質により、他の収入科目に含まれない収入

* 延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入など

随意契約

地方公共団体が競争の方法によることなく、任意に特定のものを選定し、その者と売買、貸借、請負その他の契約を締結すること

送水管
県水を流す配管

導水管
地下水（井戸水）を流す配管

特定健診
40歳から74歳までの医療保険の加入者を対象とした生活習慣病（糖尿病や内臓脂肪症候群「メタボ」）予防のための特定健康診査

配水管
水道水を流す配管

扶助費
社会保障制度の一環として生活困窮者、身体障害者等に対してその生活を維持するために支出される経費

付託
議会の議決を要する事件について、議会の議決に先立って詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会、議会運営委員会又は特別委員会に審査を委託すること

普通徴収
納税義務者本人が納税通知書によって納入する方法

不用額
実施した事業に要した経費が予算よりも少なく済んだため、支出しなかった額

補正予算
予算の調製後に生じた事由に基づき、既成の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたときに調製される予算

有収水量
下水処理場で処理した全水量のうち下水道使用料対象となる水量

予定価格
地方公共団体が契約を締結するに際し、その契約金額を決定する一応の基準としてあらかじめ作成する価格

流用（予算の流用）
一定の目的に充てた経費を抑制して、その財源を他の支出費目の増額に充当すること

レセプト
医療機関が患者に対して実施した医療行為を明記した請求書
* 正式名称は診療報酬明細書で、これを健康保険の運営者に送って費用の支払を求めます。